

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：保健推進課

シート No.：13-1

作成日：2025.5/2

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	特定健康診査を受けることで、自分の健康状態を知り、健康への意識改革を行うほか、生活習慣病の早期発見や予防活動に取り組むことで、自立した生活を継続すること及び医療費の適正化を目的とします。	特定健診受診率について、令和4年度は36.9%、令和5年度は36.5%であり、茨城県平均の37.3%を下回り、未受診者対策が重要となっています。 令和5年度特定保健指導実施率についても29.3%と、茨城県平均33.6%を下回りました。令和6年度から健診当日の初回面接を開始し、早期介入をして行動変容を促すように工夫しました。引き続き、特定保健指導実施率 33%以上を目標にしていきます。
	施策	1 保健		
	施策内容	健康づくりの推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律、データヘルス計画、特定健診等実施計画、健康プランじょうそう		
事務事業名		特定健康診査等事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
特定健康診査 （集団検診） （R7・8・9）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の特定健康診査	受診者（人）	2,000	1,900	25,227 千円	千円
				1,900		
特定健康診査 （医療機関） （R7・8・9）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の、医療機関における特定健康診査	受診者（人）	160 人	160	2,737 千円	千円
				160		
特定健康診査 （人間ドック） （R7・8・9）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の人間ドック	受診者（人）	840	840	18,000 千円	千円
				840		
特定健康診査 （脳ドック） （R7・8・9）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の脳ドック（隔年）	受診者（人）	60	60	2,700 千円	千円
				60		
特定保健指導 （R7・8・9）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者で、腹囲、BMI、血液検査（血糖、脂質、血圧）、喫煙歴等が基準に該当した者へ、生活習慣改善のための保健指導を行う。	受診者（人）	148	147	754 千円	千円
				147		
プレメタボ健診 （R7・8・9）	37 歳～39 歳の国民健康保険被保険者の健康診査（問診、身長、体重、腹囲、血圧測定、血液検査、尿検査、眼底検査、心電図）	受診者（人）	60	60	528 千円	千円
				60		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
特定健康診査受診者数	3,060 人	
特定健康診査受診率 （法定報告）	39.0%	
特定保健指導実施率	34.0%	
プレメタボ健診受診者数	60 人	

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			